

日本史

▼2025年度入試大問別出題分野

入試区分	大問	出題分野	出題内容	設問形式	難易度	頻出度
特別 奨学生 入試	I	古代の 政治史・外交史・ 文化史	A. は弥生時代の中国・朝鮮半島との交流、B. は藤原氏の摂関政治の盛衰をテーマとした大問である。3. 5. は日本と朝鮮半島の三国（新羅・百済・高句麗）との関係を問うている。7. 大学別曹として勸学院を設置したのは藤原氏である。8. 藤原氏による他氏排斥の流れはややこしいので整理しておこう。なお、弥生時代は中国の歴史書を用いた史料問題も頻出である。	空欄補充 正誤問題 配列問題 (10問)	標準	◎
	II	中世の 政治史・文化史	A. は南北朝の動乱と足利義満による統一、B. は室町時代の文化をテーマとした大問である。3. 分割相続による土地の細分化を背景として、鎌倉時代後期に相続制度が単独相続に変化した点に注意。5. 「赤松氏」は三管領ではなく四職である。7. 9. の絵画や文芸に関する人物名については、作品名とセットにして暗記することが求められる。	空欄補充 正誤問題 (10問)	やや難	○
	III	近世の 政治史・経済史	A. は徳川吉宗の享保の改革、B. は江戸時代の交通網の整備をテーマとした大問である。3. 上げ米とは、大名に石高1万石に対して100石の米を幕府に納めさせる代わりに、参勤交代の際の江戸在府期間を半年に短縮するものである。5. 「人返しの法」は水野忠邦による天保の改革の内容である。10. 十組問屋は江戸、二十四組問屋は大坂なので混同しないようにしましょう。	空欄補充 正誤問題 史料問題 (10問)	標準	○
	IV	近代の 政治史・外交史・ 文化史	A. は津田梅子の生涯、B. は大日本帝国憲法下の政党政治をテーマとした大問である。2. 明治期の条約改正交渉の流れ、3. 日清・日露戦争の講和条約の内容はともに近代外交史の重要事項である。4. 近代の教育制度はやや手薄となりやすい分野だが、法令名とモデルとなった国家を押さえよう。7. 軍部大臣現役武官制を定めたのは第二次山県有朋内閣である。	空欄補充 正誤問題 配列問題 (10問)	標準	◎
入試区分	大問	出題分野	出題内容	設問形式	難易度	頻出度
一般入試 前期	I	古代の 政治史・外交史・ 文化史	A. は蘇我氏を中心とした飛鳥時代の律令国家建設、B. は奈良時代後半～平安時代初期の律令体制の建て直しをテーマとした大問である。4. 「初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。」は改新の詔の条文である。8. 「勘解由使」はその他の令外の官と職務を区別できるようにしよう。10. 大乗戒壇の創設をめざしたのは最澄である。	空欄補充 正誤問題 史料問題 配列問題 (10問)	標準	◎
	II	中世の 政治史・文化史・ 経済史	A. は北条氏による執権政治の確立、B. は中世の惣村をテーマとした大問である。3. 5. 北条氏の執権名とその事績は正確に覚えることが必要である。7. 米を1年に2回耕作するのは二期作である。8. 商工業者や金融業者の名称は紛らわしいが、各時代ごとに区別しておこう。なお、室町時代は農民による一揆も頻出なので、名称や内容についても必ず確認しておきたい。	空欄補充 正誤問題 配列問題 (10問)	標準	○
	III	近世の 政治史・外交史	A. は織豊政権の諸政策、B. は江戸時代のロシアとの交流をテーマとした大問である。3. 豊臣秀吉が太閤検地で基準としたのは「宣旨枅」ではなく京枅である。5. 「文永」の役と「弘安」の役はモンゴル襲来（元寇）となるので注意。9. 10. 幕末の列強の接近は外交史の重要分野なので、国ごとに使節の人物名や来航順を整理しておこう。	空欄補充 正誤問題 (10問)	標準	◎
	IV	近代～現代の 政治史・文化史・ 経済史	A. は渋沢栄一の生涯、B. は戦後のGHQによる民主化政策をテーマとした大問である。3. 「徳川慶喜」、6. 「マッカーサー」は基本的な内容であり必ず正答したい。7. 戦後の選挙法改正により20歳以上の男女普通選挙が実現した。8. 日本国憲法において天皇の地位は「象徴」と規定された。なお、本学ではリード文として人物史が用いられることがあるので留意しておきたい。	空欄補充 正誤問題 史料問題 (10問)	やや易	○

日本史 学習対策

問題形式はマークセンス式の 4 択問題である。また、2025 年度入試の問題構成は、大問数が 4 題、問題数が 40 問となっている。難易度については、細かな知識を問う問題はほとんど見られず、教科書レベルの基本的な知識があれば十分に対応することができる。総じて受験生にとっては解答しやすい難易度の問題であるといえるだろう。以下、本学の日本史の形式面・内容面にもう少し具体的に触れ、対策について述べていきたい。

まず、形式面であるが、先述のようにマークセンス式の 4 択問題となっており、空欄補充や正誤問題の設問形式が中心となっている。また、年度によっては地図上の位置を問う問題や出来事の時期を問う問題なども出題されている。正誤問題については、内容や時期が明らかに誤りと分かる肢が含まれていることが多く、不正解の肢を切りやすいので消去法での解答も容易だろう。また、史料文を用いた問題も例年出題されているが、いずれも教科書などに掲載されている有名な史料なので、日頃の学習では史料文にもしっかりと目を通して書かれている内容を理解しておこう。

大問数は近年は 4 題が続いており、2025 年度も大問 4 題であった。また、問題数は例年 40 問となっており、2025 年度も 40 問の出題であった。解答時間は 2 科目選択で 120 分、または、1 科目選択で 60 分（一般入試前期 B 方式）となっているので、比較的余裕をもって問題を解くことができるだろう。余った時間は必ず答案を見直して、時間を有効に活用しよう。また、日本史が不得意な受験生も試験時間は十分にあるので、解ける問題を優先的に解きつつ焦らず取り組んでもらいたい。

次に、内容面を見ていくと、難易度は先述のようにほとんどが基本的な問題であり、教科書を中心にしっかりと学習していれば満点近い点数を取ることも十分可能である。他の科目が苦手という受験生は日本史で高得点を目指して、他教科の分もカバーしていこう。

また、分野は政治史や外交史、経済史、文化史などから出題されており、時代は古代から近現代まで一通り出題されている。分野・時代ともに満遍なく出題されているので、受験生は全範囲を学習することが求められる。ただし、出題の比重を見ると政治史や外交史が大きいので、まずはその分野の学習を優先的に進めてもらいたい。政治史・外交史を軸として、古代から戦後までの一連の流れを整理しながら学習することが大事である。ただ、そうはいつても何から始めたらよいか見当がつかない受験生もいると思われるので、以下に本学の日本史で狙われやすい重要項目を列举しておく。主に政治史と外交史（一部、文化史も）の要点をまとめてあるので学習の参考にしてもらいたい。

時代	内容
古代	<p>① <u>周辺国家との外交史</u> 中国との朝貢関係や朝鮮半島との交流が特に重要。それぞれの時期の日本の政権名や中国・朝鮮半島の国名にも注意。</p> <p>② <u>奈良時代・平安時代の政治史</u> 藤原氏の政界進出～摂関政治、院政、平氏政権～源平の争乱が頻出。</p>
中世	<p>① <u>鎌倉幕府・室町幕府の成立史</u> 源氏政権→執権政治→建武の新政→足利政権など各政権で主導権を握っていた人物に焦点を当てて理解する。</p> <p>② <u>室町時代の農民一揆</u> 正長の土一揆、播磨の土一揆など各一揆の年代や内容だけでなく、史料文についても確認しておく。</p> <p>③ <u>織豊政権の政策</u> 織田信長の楽市・楽座、豊臣秀吉の太閤検地やバテレン追放令などの諸政策について整理しておこう。</p>
近世	<p>① <u>江戸時代の文化史</u> 思想史（儒学、国学、民衆の思想など）や芸能史（歌舞伎など）から出題されている。また、著作名や著者名なども頻出。</p> <p>② <u>幕末の外交史</u> ペリー来航前後の外交史に特に注意すること。日本に来航した外国人（ラクスマン、レザノフ、ビッドル、プチャーチンなど）や来航地（根室、長崎、浦賀など）については確実に得点できるようにする。</p>
近代	<p>① <u>明治政府誕生から国会開設まで</u> 自由民権運動を中心とした政治史が特に重要。政府の財政難→士族の不満と西南戦争→自由民権運動→国会開設。これらの流れを点ではなく、線で理解し覚えるようにする。</p> <p>② <u>協調外交、積極外交、十五年戦争</u> 中国や朝鮮との関係を当時の内閣を中心として学習すること。特に幣原喜重郎の協調外交は頻出。</p>

戦後	<p>① <u>人物史</u></p> <p>浜口雄幸、幣原喜重郎、岸信介、田中角栄などを取り上げた大問が過去に出題されている。歴史上の人物がいつ、どこで、何をなしたか、といった視点で学習することが求められる。</p>
----	---

以上が学習するうえで特に気を付けてもらいたい分野である。ただし、当然ながら上記の内容のみから出題されるわけではないので、全範囲を偏りなく学習することが本学の日本史で合格ラインに達するためには必要である。また、日頃の学習に際しては、基本的な用語の習得をしっかりと心掛けるようにしてほしい。細かな用語を必死に覚えようとするのではなく、教科書や用語集に掲載されている太字の用語を確実に理解・暗記し、過去問などの問題演習を通じて何度も問われている用語をミスなく得点できるようになることが大切である。

ここまで読んでいただいた学習対策や出題内容を学習の指針としてもらえれば幸いである。最後に、皆さんが本学の日本史を攻略して合格を勝ち取ることを祈っています。